

## 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント (SDM)

### 研究科オンライン・トーク「身体と芸術」

近代科学を基礎とする脳中枢社会は生産性や合理性を絶対的尺度とみなすことで急速な発展を達成した。しかし、現代社会の現状はそれらの基準が最早正しく機能していないことを示唆していると考えられる。もともと密接な関係にあったはずの芸術と科学の現代における分断もこのことと深い関係をもつようにも思われる。私達はこの分断をどう受け止めていくべきか？

#### ●パネリスト一覧



A:松原正樹

B:新妻雅弘

C:福田成康

講演：松原正樹 先生（A：筑波大学准教授）プロフィール：身体性認知科学の観点から人の潜在意識に着目し、他者視点や自身の在り方への気づきを促進する認知的インタラクションの研究に従事。近年は芸術療法・身体知教育としてのシアターワークに注目し、身体の芸術表現による意識変容の実践をおこなっている。

司会：新妻雅弘（B:慶應義塾大学専任講師）プロフィール：立命館大学助教、独バツハ資料財団研究員、青森大学 講師を経て、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント (SDM) 研究科

専任講師。専門は、人工知能、バツハ研究、体運動習性（運動の癖に基づく人間の周期性および個性の研究）など。

聞き手：福田成康氏（C:ピティナ／東音企画代表）

●日時・形式 2022年9月3日（土） Zoom ウェビナーによる開催、入退出自由

●スケジュール

14:00 SDM 研究科説明会（新妻雅弘）

14:30 講演：松原正樹 先生 講演タイトル「身体知と芸術表現」

15:00 対談：新妻雅弘 × 松原正樹 先生

16:00 終了

●参加方法 参加無料。9月2日（金）15時までに SDM 研究科のイベントカレンダーからお申込み下さい。

登録いただいたメールアドレスに、前日までに Zoom の URL をお送りします。

<http://www.sdm.keio.ac.jp/calendar.html>

●お問い合わせ Email: [sdm@info.keio.ac.jp](mailto:sdm@info.keio.ac.jp)

